

## 第13回帯広市総合計画策定審議会 議事概要

1. 日 時 平成20年9月16日（火） 19:00～21:00

2. 場 所 市役所10階第6会議室

### 3. 議事概要

#### (1) 報告事項1 平成20年度市民意向調査の結果について

平成20年度市民意向調査の結果について事務局より説明。

##### 【委員】

抽出数を3000名とした根拠はあるのか。

##### 【事務局】

統計調査の専門家の指導を受けたものであり、統計学的に有効な数である。この中で少しでも回答率を高めるように様々な策を講じている。

##### 【委員】

市民意向調査で把握した満足度はどのように活かされているのか。

##### 【事務局】

政策・施策評価において、満足度を一つの評価要素として活用している。ただし、これまでの経験から満足度には大きなブレがあることが分かってきている。

##### 【委員】

農業体験や住宅・住宅地の供給についての項目の満足度の順位が大きく下がっているが、原因はどこにあるのか。

##### 【事務局】

今回は速報版であり、クロス集計は行っていないが、今後、クロス集計も行い顕著な傾向が出ないか確認し、結果を報告したい。

##### 【会長】

単純集計だけでは様々な疑問が出てくる。そうしたときにクロス集計で分析を深めるということが大事。

**【委員】**

上昇の傾向などは時系列で見れば分かる。2期だけの比較ではブレがあり、分析の仕方の工夫が必要。

**【事務局】**

今後、時系列の比較も行いたい。

**【委員】**

重要度が低くて満足度が高い項目は今となつては調査の必要性は薄れてきているのではないか。こうした項目を調査から除き、時代に合った設問を追加することも必要ではないか。

**【会長】**

調査の仕方の変更は結果にも大きな影響を及ぼすものであり、統計はある程度継続的に取らなければならない。そのためには、最初の調査の段階でより慎重な設計が求められる。

**(2) 報告事項2 まちづくり通信2008（政策・施策評価報告書）について**

まちづくり通信2008（政策・施策評価報告書）について事務局より説明。

**【委員】**

環境問題が注目されていることを踏まえると、資料編に降水量の推移など気候変動などの資料を掲載することも必要なのではないか。また、外国人観光客の入り込み客数などの資料も必要ではないか。

**【事務局】**

まちづくり通信は、五期総の各項目に対応して作成している。ページ数の制約もあることから、代表的なものを掲載していることをご理解いただきたい。

**【委員】**

財政力指数や経常収支比率についてデータが示されているがどのように捉えればいいのか。

**【事務局】**

財政力指数は、必要な収入をどのくらい自分で調達することができるかを見るもので、数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、道内の主要都市の中では上位にあ

る。

経常収支比率は財政の硬直度を示す指数だが、平成12年から上昇しており、他市に比べれば良い方ではあるが、硬直化がすすんでいる状況にある。

### (3) 報告事項3 新しい総合計画について（計画素案）

新しい総合計画について（計画素案）事務局より説明。

#### 【委員】

今後、この計画素案に議会の意見が入ってくることになるのか。

#### 【事務局】

基本構想は議会に提案し議決をいただくことが必要である。議決権は議会にあり議会の意見も反映されることとなる。議会と考え方が全く異なるということはないと思うが、人口など個別の項目では様々な議論が行われると思う。

#### 【委員】

今後の議会議論は傍聴できるのか。議会開催の際に案内をいただけないか。

#### 【事務局】

議会の開催について、個別にお知らせすることは可能である。

#### 【委員】

市民意見を募集するのであれば、期日を分かりやすく示すことや、受取人払いにすること、コミセンや町内会での回収など工夫が必要である。今後の参考としてほしい。

#### 【事務局】

今後、市民意見を求める際にはさらに工夫したい。

#### 【委員】

計画素案はかなりのボリュームがあり、一般の市民はなかなか読まないのではないかと。計画を提案する方のレベルと読む市民のレベルに差があり、その差を埋める工夫が必要ではないか。例えば市民団体やNPOなどから意見をもらうなどの工夫が必要ではないか。

#### 【委員】

何らかのプレミアをつけることも必要ではないか。

**【事務局】**

多くの市民の方に読んでいただくことは難しいことであるが、少しでも読みやすくなるようレイアウトの工夫などもしており、現時点では、広報誌に織り込んで全戸配布する方法が最善の手法と考えている。

**【委員】**

概要版で定住促進の記述があるが、交流人口の拡大は今後の大きなテーマであり、その一つの手段として観光は重要。計画素案でも、観光については記述があるが、今後、議論をすすめる際には、より具体的に実現可能性のある施策について議論をすすめていただきたい。

**【事務局】**

計画素案は骨子だけを示したものであり、具体的なことは書かれていないが、交流人口の増加を具体的にどうすすめていくのかという議論は、今後も必要であると考えている。

**【委員】**

今後、議会議論がすすむ中で、審議会に対しては議論された内容をフィードバックする予定はあるのか。今後の議会議論によっては答申書に盛り込んだ方向性以外の要素も入っている可能性があるのか。

**【事務局】**

市長の諮問に応じて答申を行うのが審議会の役割であり、これから先は市と議会の議論となる。議論の経過は随時審議会にも報告していきたい。

**【委員】**

計画素案について寄せられた市民意見は審議会にも資料提供してもらえるのか。

**【事務局】**

今後、この計画素案を充実させていくために行う意見募集であるが、資料としてお示しできると思う。

以上